

### 視察会報告

### 三神環境開発株式会社

5月10日(金)兵庫県三木市の安定型埋立処分場三神環境開発株式会社を視察しました。共同購買事業の2次処理先として検討中です。現在1期の残が6万 $m^3$ ほど、2期(22万 $m^3$ )も手続き中で近々許可が下りる予定です。1期2期合わせて28万 $m^3$ の受け入れ容量となります。現在は関西・中部地方の廃プラを中心とした廃棄物が入っています。今回共同購買が始まると関東からの受け入れは初荷となります。近隣との協定で、20台/1日で500 $m^3$ までという制限があり、搬入の時間も決められています。現状は、未破碎のもの、木くず、紙くずの混入が目立ち、行政からも指導を受けているようです。搬入物から人手で選りわけて返却されています。処分場では、受入廃棄物の質を上げるため、建廃協の廃棄物に置き換えていきたいようです。処分場の廃プラ等飛散防止の覆土は毎日していますが、3メートルに1回、40~50cmの覆土をしています。



日生運輸との荷下ろし方法も確認済で、事前協議がないため、契約書を交わしすぐに利用できます。

### PCB 施設視察会報告

### 青年部準備会

さる平成25年5月17日若葉、青葉をわたる風も快く感じられる穏やかな晴れの日 日本環境安全事業株式会社東京事業所施設視察会を実施し、建廃協 青年部準備会9名が参加しました。



十握様による施設説明の様子

こちらの処理施設では埼玉、東京、千葉、神奈川の1都3県から発生する高濃度のPCB廃棄物の処理がおこなわれてお

ります。こちらの施設ではPCBを抜油した後、PCBを水熱酸化分解法という化学反応を用いた処理を行っています。また安全面においても施設内の気圧が外気に比べて低く設定されており、大気中にPCBの成分が飛散しないよう処置がほどこされていました。



東京事業所正面にて



施設内視察の様子



各工程毎の説明用ディスプレイ



さらには各機器の下にはオイルパンが設けてありモニタリングシステムにて管理されて安全面においても徹底していると感じました。PCB の処理には平成 34 年～35 年程の期間を要すると伺い驚きました。施設内の工程毎を視察できる箇所には説明用ディスプレイが設置されており非常に分かりやすかったです。下記のような高圧のコンデンサ等を分解処理し、PCB を無害化した後、鉄、銅、アルミにリサイクルされ資源として再利用されるそうです。



高濃度 PCB を含む高圧トランス高圧コンデンサ等



無害化処理



リサイクル品のサンプル

この度、日本環境安全事業株式会社東京事業所施設視察会を通じて感じたことは、たとえ有害物であっても適正な処理を行うことによって無害化され再び世の中に資源として循環されることを改めて勉強させていただきました。

最後に、この度の視察を快く受け入れていただきました日本環境安全事業株式会社東京事業所の皆様には深く感謝申し上げます。

レポート 株式会社 光洲産業 齊藤成哲

### 第 38 期通常総会 5/29 京橋区民館



第 38 期通常総会が、5 月 29 日（水）京橋区民館において開催され、組合員各位のご協力により全ての議案について異議なく原案通り承認・可決され、新役員が選出されました。

今総会では、来年度の 40 周年に向けた取り組み、青年部の創設、大規模災害時の相互支援も規約制定など新しい取り組みが提案されていました。



### お知らせ

★6 月 1 日よりホームページの組合員専用ページにログインする際のパスワードが変更されました。

☆通常総会の開催結果をホームページに載せました。新しい規約等、専用ページで確認ください。

※建廃協では、NEWSに載せてほしい事柄、また載りたい方も募集中です。どんなことでもかまいません。

感想などもぜひこちら→ [jimukyoku@kenpaikyo.or.jp](mailto:jimukyoku@kenpaikyo.or.jp) まで。